

編集後記

日々の臨床や教育に取り組むなか、「何故だろうか」「もっと良い方法はないだろうか」と疑問を抱くことは少なくないと思います。こうした日常の中で生まれる小さな疑問は、研究の出発点になります。研究によって臨床での疑問を解決し、その得られた知見を再び臨床へ還元すること、その積み重ねが保健医療の発展に繋がっていくのではないのでしょうか。

さて、「保健医療学雑誌」第17巻第2号には、和文の原著論文と報告が各1編、英文の Original article 1編が掲載されています。いずれも保健医療に関する新たな知見や示唆を含む興味深い内容となっておりますので、ぜひご一読いただければ幸いです。

本誌が、日々の臨床や教育で生まれた疑問を形にし、新たな研究へとつなげる場となることを願っております。皆様の研究成果を、ぜひ「保健医療学雑誌」へお寄せください。今後とも、本誌へのご支援・ご愛読をよろしくお願い申し上げます。

2026年10月1日

保健医療学雑誌 副編集委員長

幸田仁志（京都工芸繊維大学）